

抗 TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎の臨床像、特に悪性腫瘍合併に関する研究

1. 臨床研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。その一つとして、九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科では、現在皮膚筋炎の患者さんを対象として、抗 TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎の臨床像、特に悪性腫瘍合併に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2027年3月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

皮膚筋炎では多くの種類の自己抗体が出現しますが、それぞれの自己抗体には特徴的な臨床像があり、抗 TIF1- γ 抗体は悪性腫瘍の合併が多いことが知られています。今回、抗 TIF1- γ 抗体が陽性の皮膚筋炎の患者さんについて、悪性腫瘍を合併した方と合併していない方の症状、身体所見、検査値などの違いを明らかにすることを目的としています。

3. 研究の対象者について

2016年1月1日から2025年4月30日までの間に当院で抗 TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎と診断された方20名（研究全体：70名）を対象にします。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究を行う際は、診療録に記載されている情報や、検査結果、画像検査などをさかのぼって集め、解析を行います。本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、仮の ID に置き換えたものを研究代表者へ提供し、解析が行われます。

[取得する情報]

診療録に記載されている患者 ID（情報管理に使用）、年齢、性別、診断名、既往症、合併症、バイタルサイン、身体所見、皮膚画像、血液検査結果（赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、白血球分画、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、 γ GTP、LDH、ALP、CK、アルドラーゼ、BUN、クレアチニン、Na、K、Cl、フェリチン、CRP、ESR、IgG、sIL-2R、KL-6、抗核抗体、抗 TIF1- γ 抗体、抗 MDA5 抗体、抗 SS-A 抗体、抗 ARS 抗体）、画像検査結果（X線、CT、MRI、エコー、内視鏡）、病理検査結果、治療歴（治療内容、治療効果）、予後

[利用又は提供を開始する予定日]

研究許可日以降

高邦会高木病院へ研究対象者の取得した情報を送付して、詳しい解析を行う予定です。

他機関への情報の送付を希望されない場合は、送付を停止いたしますので、ご連絡ください。

情報の送付においては本学のファイル共有システム（proself）を用いて、セキュリティに十分配慮した上で行います。

5. 研究への参加を希望されない場合

この研究への参加を希望されない方は、下記の相談窓口にご連絡ください。なお、研究への参加を希望されなくても、あなたの診断や治療に不利益になることは全くありません。

その場合は、収集された情報は廃棄され、取得した情報もそれ以降はこの研究目的で用いられることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

6. 個人情報の取扱いについて

研究対象者の診療録上の情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科の専用のハードディスクに保存します。このハードディスクが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院医学教育学分野・教授・新納 宏昭の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

研究対象者の診療録の情報を高邦会高木病院へ送付する際には、九州大学にて上記の処理をした後に行いますので、研究対象者を特定できる情報が外部に送られることはありません。

7. 試料や情報の保管等について

[情報について]

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科において九州大学大学院医学研究院医学教育学分野・教授・新納 宏昭の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

しかしながら、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

8. この研究の費用について

この研究に関する必要な費用は、部局等運営経費でまかなわれます。

9. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのため資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じることがあります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は部局等運営経費でまかなわれており、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

(窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082)

10. 研究に関する情報の公開について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。

11. 特許権等について

この研究の結果として、特許権等が生じる可能性があります。その権利は九州大学及び共同研究機関等に属し、あなたには属しません。また、その特許権等を元にして経済的利益が生じる可能性があります。これについてもあなたに権利はありません。

12. 研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって対応します。

13. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科
研究責任者	九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科 助教 西村 直矢
研究分担者	九州大学大学院医学研究院 医学教育学分野 教授 新納 宏昭 九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科 助教 木本 泰孝 九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科 助教 綾野 雅宏 九州大学病院 臨床教育研究センター 助教 桑原 綾子

	九州大学大学院医学研究院 医学教育学分野 助教 藤本 翔 九州大学病院 免疫・膠原病・感染症内科 医員 甲斐 達也	
共同研究機関等	機関名 / 研究責任者の職・氏名・(機関の長名)	役割
	高邦会高木病院 リウマチ・膠原病センター・センター長 多田 芳史 (病院長・筒井 裕之)	研究統括、統計解析、論文作成、情報の収集と解析

14. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 助教 西村 直矢 連絡先：〔TEL〕092-642-5233 〔FAX〕092-642-5247 メールアドレス：nishimura.naoya.796@m.kyushu-u.ac.jp
---------------	---

【留意事項】

本研究は九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

九州大学病院長 中村 雅史